

2010年環境科学院写真展

2010年環境科学院の写真展を8月1日から6日まで開催しました。応募いただいた皆様、有難うございました。オープンキャンパス来場者、教職員、学生（35名）の投票により、芸術賞と研究賞が決まりました。芸術賞は、比較的票が集中していたようですが、研究賞は広く分散していました。なお、これらの写真は学院のパンフレットや学院の事業の宣伝に使わせていただく予定です。



作品番号1 環境科学院陸上部シニアチーム 2007

撮影日：2007年10月8日午後3時

毎年8月に結成され、10月の体育会主催「駅伝大会」（体育の日）に参加し、恒例の打ち上げコンパ（当日夜）の終了とともに消滅する、環境科学院陸上部シニアチーム(2007)の写真です。左から平川先生、山崎（写真提供）、池田先生、藤井先生、平井さん（山崎研）。シニアチームの成績は、毎年参加60から80チーム中20位程度ですが、タイムをチームメンバーの合計年齢で割った値では、ダントツの一位です（そんな評価基準はありませんが・・・）。環境科学院からは3から5チーム参加しますが、精鋭チームは、いつも総合3位前後（一般参加チームの部で優勝）で、大学院生チームとしては結構強く、事務室の入り口前に展示されているトロフィーの数からも、その強さがおわかりいただけるでしょう。



作品番号 2 モンゴルの子供は働き者 (芸術賞 2 位 6 票)

撮影日 : 2010 年 7 月 20 日

モンゴルでは小さな子供も大事な労働力です。この写真はモンゴルでのフィールドサマースクールの昼食の際に食堂を経営する家族の子供が、料理に使う薪を運ぼうとしている姿を撮影したものです。今までもモンゴルでは、子供が家族の重要な労働力として一生懸命働いている姿を見たことがあります。皆で力を合わせて生活するモンゴルならではの風景です。



作品番号 3 Mongolia Nomadic Feeding (研究賞 1 位 6 票)

Mongolia is a country of multiple ecosystems extending from year-round permafrost in the north to broad eyeshot of pasture in the south. Over the pasture area, nomadic grazing constitute the dominant Mongolian living style. Summer School held by IFES-GCOE office in this July explored sustainable ecosystem usage in Mongolia. This

photo is showing that two Mongolian children feeding their livestock on the foot of a small hillside. Under the background of warming climate, grass growth has been dramatically decreasing recent years. Herd families are compelled to feed their animals far from their tent.



作品番号 4 大きな青色に挟まれ

撮影日：2010/5/27

研究航海に参加した際に小さな作業艇に乗る機会があり、大海原に浮かぶ研究船（JAMSTEC、白鳳丸）を初めて外から見る事ができました。普段は揺れるイメージしかないのですが外から見てみると、空と海の二つの青色に挟まれ、まるで元々そこにあるものかのようにずっしりとたたずんでいました。小さな小船で揺られていた私はその姿に圧倒され、そして辺り一面に広がる青色を見てこんなにも壮大なものを研究しているのだと改めて感じた瞬間でした。



作品番号5 厳冬期の石狩河口でサンプリング（研究賞1位 6票）

石狩川の下流域から河口にかけての調査ポイントで、毎月採水と採泥を行う計画を立てた。雨の日も、快晴の日もほぼ1日かけて10カ所くらいを回る。予想通り、一番苦勞したのが厳冬期だった。三日月湖では結氷していて試料を取ることをできない。そんな1月の一日の最後に、日が傾いた石狩河口を訪れた。寒かったが、風もなく、穏やかだった。良い実験結果が出てくれることを祈って一日のサンプリングを終えたのである。



作品番号6 カラコルムで薪を集める女たち＝森林破壊（芸術賞2位 6票）



作品番号7 出航（芸術賞2位 6票）

海洋調査の出航の様子です。この写真のように、出港時に紙テープを使用することは殆どありません。



作品番号8 海洋プランクトン観測

ネットを使用して海洋表層に生息しているプランクトンを観測している様子です。この航海は植物プランクトンが大繁殖する時期と重なっていたため、ネットエンドには珪藻類が大量に捕集されました。



作品番号9 一息つく夕日（芸術賞1位 7票 研究賞2位 5票）

撮影日時：2010。5。24(月) 夕方18:30 ごろ

この写真は、2010年5～6月に西部北太平洋上で行なった研究航海で撮った写真です。太陽が海に沈むとき、雲によって夕陽がいくつにも分かれて見えます。研究航海では、昼夜問わず観測地点に着くと作業が始まります。眠たさや疲れもありますが、時折このような美しい風景に出会うとその疲れもすこしばかり忘れてしまいます。